

花野たより

NPO法人阿蘇花野協会会報誌
VOL. 27号 2013年3月31日発行

2013. 春号

活動報告

野焼き

2013年3月17日

調査報告

阿蘇花野トラストにおける 放置人工林伐採後の植生変化

高沢智嗣・藤井紀行(熊本大学大学院自然科学研究科)

野焼き

右上に配置されたスタッフの大きさと、スケール感が伝わるでしょうか。この後、草原は大いに燃え上がりました。



火入れの前に、防火帯に会員を配置。



一旦燃え盛れば、炎は巨大、迅速。



火入れるのは、地元のベテラン農家の皆さんだけ。



炎のあと、真っ黒な焼け跡に白い煙がたなびく。



ジェットシューター、火消し棒、消火器などで延焼防止。



皆さんお疲れさまでした。次は4月の観察会で。

毎年恒例、阿蘇の風物詩「野焼き」を、今年も無事に終えることができました。
三月十七日、参加者は地元の皆さんも含めて約五十名。実際の野焼きの前に、あらためて「安全な野焼きのためのルール」を確認し、班分け、備品点検などを行いました。
この日、当初は雨が心配されたのですが、む

しろ天候に恵まれ、草原もよく燃え上がりました。予定していた時刻よりも早く、すべての野焼きを終えることができ、しかも、終わった途端、待ちかねたかのように霧雨が降りて来ました。これで残り火も消してくれると、なんとも絶妙な天の配剤に一同、笑顔。よい野焼きでした。
阿蘇の草原に、本格的な春がやって来ます。



阿蘇花野トラストにおける 放置人工林伐採後の植生変化

熊本大学大学院 自然科学研究科

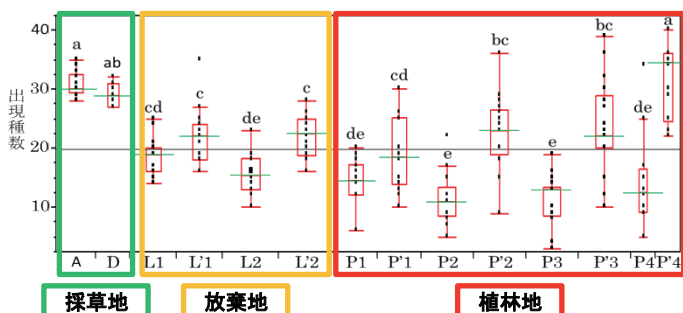
高沢智嗣・藤井紀行

現在、当協会ではトラスト地内のスギ放置人工林(約43年生)を伐採し、草原へ再生する事業が進められています。そこで私たちは、2012年5月から10月にかけて放置人工林伐採後の植生がどのように変化したのかを調査しました。

ここではその調査結果の概要をご報告いたします。植林地伐採前と伐採後の植生の比較から、伐採後は出現種数が増加し、さらに草本種が増加し、木本種が減少することが明らかになりました。しかし、採草地や放棄地の植生と比較すると、伐採後の植生は植林地伐採前の植生の影響がかなり残っていることが明らかになりました。

1. 出現種数の比較

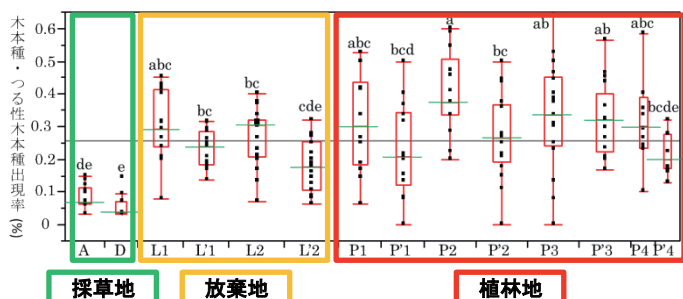
採草地・放棄地野焼き前後・植林地伐採前後において出現種数の比較を行いました。その結果、植林地伐採後は伐採前に比べて出現種数が増加する傾向が見られました。



Lラインは放棄地野焼き前、L'ラインは放棄地野焼き後、Pラインは植林地伐採前、P'ラインは植林地伐採後を示す。異なるアルファベット間には統計的に有意差があることを示す(2の図も同様)。

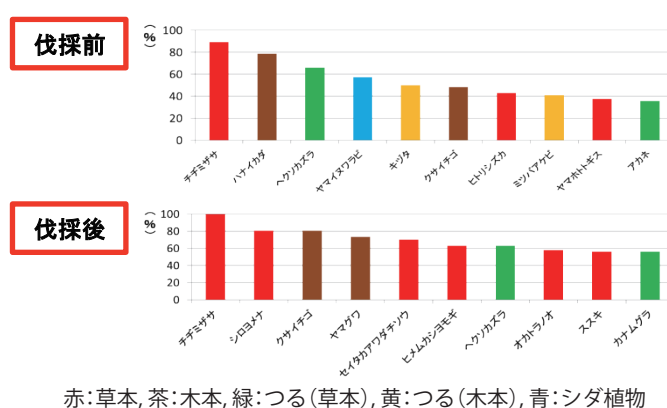
2. 木本種・つる性木本種出現率の比較

木本種・つる性木本種出現率の比較を行った結果、植林地伐採後は伐採前に比べて木本種出現率が減少していることが示されました。しかし、採草地の出現率と比べると依然高く、木本種の占める割合が大きいことが分かります。



3. 植林地伐採前後におけるコドラート出現上位種の比較

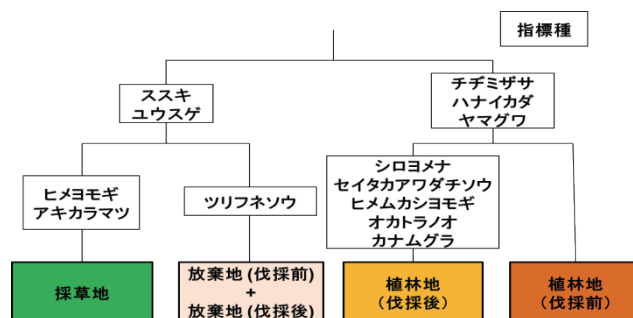
植林地伐採前後において、コドラート出現上位10種の比較を行いました。その結果、伐採前は10種中5種が草本であったのに対し、伐採後は10種中8種が草本と、草本種の増加が見られました。しかし、伐採後においてもクサイチゴやヤマグワといった木本種が比較的上位に出現していました。



赤:草本, 茶:木本, 緑:つる(草本), 黄:つる(木本), 青:シダ植物

4. TWINSPLAN解析

TWINSPLAN解析はコドラートの種組成等のデータをもとにクラスター分類を行う手法です。その結果、採草地グループ・放棄地野焼き前後グループ・植林地伐採後グループ・植林地伐採前グループの4グループが以下の指標種をもとに分類されました。



5. 絶滅危惧種の出現

植林地伐採後のフロラ調査を行った結果、環境省や熊本県の絶滅危惧植物に指定されているツクシトラノオやゴマノハグサ、ケルリソウ、シオンなどが新たに出現しました。



ツクシトラノオ



ゴマノハグサ



ケルリソウ

本年度の活動スケジュールです。

NPO法人阿蘇花野協会の2013年度スケジュールは、下記のとおりです。

各活動については事前にご案内をお送りし、参加者確定の上で実施いたします。ふるって、ご参加ください。

●阿蘇野の花観察会 ●草刈り・草集め ●野焼き ■会報誌発行 ★調査研究活動

2013年度の活動スケジュール

4月	●第1回阿蘇野の花観察会 4月29日(月:昭和の日) 阿蘇花野トラスト地 サクラソウ、フクジュソウ、キスミレ、ヒトリシズカなど
5月	■会報誌「花野たより Vol. 28」発行
6月	
7月	●第2回阿蘇野の花観察会 7月14日(日) 阿蘇花野トラスト地 ヒメユリ、ツクシマツモト、ハンカイソウ、ハナウド、シシウドなど
8月	
9月	●第3回阿蘇野の花観察会 9月23日(月:秋分の日) 阿蘇花野トラスト ヤツシロソウ、ワレモコウなど
10月	●草刈り 10月13日(日) 予備日10月14日(日)、20日(日) ●草集め 10月20日(日) 予備日10月27日(日)
11月	■会報誌「花野たより Vol. 29」発行
12月	
1月	■会報誌「花野たより Vol. 30」発行
2月	
3月	●野焼き 2014年3月2日(日) 予備日 3月9日(日)、16日(日)、21日(春分の日)、23日(日) ■会報誌「花野たより Vol. 31」発行

阿蘇花野協会は、次のような団体からの寄付・助成金を受け、活動しています。



発行



NPO法人

阿蘇花野協会

〒862-0912 熊本市錦ケ丘3番15号 TEL&FAX 050-6620-8306

野焼きも無事に終わり、これからは春の草萌える季節を待つばかりです。天災人災が相次ぎ、多くの方々が深刻な不安を抱えておられる今。だからこそ、豊かな自然に恵まれている熊本で暮らす、そのありがたさに感謝の念を強くします。私たちが生きる、足下から。地道ですが、しっかりとした活動を行なって行きたいものです。
k.mori@airs.ne.jp (広報担当: 森)